

キャラクター名 霊山風夏(かみやまふうか)	プレイヤー名
--------------------------	--------

シンドローム	ハヌマーン ノイマン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	中学生
オプション		年齢	15	性別	女
覚醒	無知	衝動	嫌悪	初期侵食率	34%
出自	複数の姉妹がいる	経験	トラウマ	邂逅	恩人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	1	0	0			1	行動値	16
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	16
精神	4	1	0			5	戦闘移動	21
社会	2	0	0			2	全力移動	42

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
歌姫の応援歌(Angelic cheer)		0				4人まで判定ダイス+8、C値-2を付与、侵蝕+13。U99
軍神の指揮(Commander song)		0				4人まで判定ダイス+11、C値-2を付与、侵蝕+13。O100
セーレーン・シャウト	RC	8r+1		15		装甲無視攻撃。C値9、侵蝕+11。O100

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費	
霊山愛里夏	P 幸福感	N 不安			
霊山来夏	P 幸福感	N 不安			
アリス	P 尊敬	N 劣等感			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
サイレンの魔女	4	5	メジャー	視界	シーン(選択)	対決	-	
効果:	射撃攻撃。A値SL×3、装甲無視、CR組み合わせ不可							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果:	判定のC値-1							
エンジェルヴォイス	3	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象のC値-1(下限6)、判定ダイス+SL個							
風の渡し手	2	3	メジャー	-	SL+1	-	-	
効果:	組み合わせたエフェクトの対象を [SL+1] に変更							
先手必勝	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	行動値+ [SL×3]。侵蝕基本値+4							
声援	3	2	メジャー	視界	-	自動	-	
効果:	対象のメジャー判定ダイス+SL個							
アドヴァイス	2	4	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象のC値-1(下限6)、判定ダイス+SL個							
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

とある山奥の村で暮らしていた、美少女三姉妹の次女。姉妹ともども生まれつきのオーヴァード。11歳までは力を隠しながら平穏な生活をしていたが、とある事件にてその力が村にバレてしまう。両親を含めた村の全員から化け物扱いされ、魔女裁判にかけられそうになるも、姉と妹の協力により村からの逃亡を果たす。故郷を失った三姉妹は逃亡先で偶然遭遇したアリス(当時6歳、UGNエージェント)に拾われ、N市支部に保護されることとなる。現在は姉妹揃ってエージェントに昇格し、レネゲイドと積極的にかかわる毎日を送っている。

一人称は「ボク」。基本的にゆったりした性格。争いごとは避けたがるタイプで、そのためにノイマンのキれる頭をフル活用する。またなんでも一人でやりきりたがる節があるため、ストッパーがいないとずんずん前に進んでいってしまう悪癖がある。家族□姉妹に対する想いは並外れており、愛里夏と来夏は全てを投げ打ってでも守りきる覚悟を完了している。

- ・地位…UGNエージェント
- ・所属…UGN-N市支部
- ・好きなもの…姉妹、歌
- ・嫌いなもの…故郷、両親、熊

「ボクは風夏。よろしくね」
「ふ、二人とも待ってよお～」
「ええ…やだなあ。どうやってやり過ごすか…」
「この力はきっと、ヒトに見せちゃまずいモノ。だから…ボクたちだけの、ひみつ」
「甘いよ！」
「えりかおねえちゃん…らいかあ…！」
「…みんな、頑張って！La0！」